

学ぶ願いを応援し、

地元愛と絆を育む

たなばた

こくばん七夕ノート



「今日、学校で、こんなこと学んだよ！」



No. 年 月 日 ~ 年 月 日

年 組



表紙は、小・中学生が復興を願って折った七夕折鶴を再利用したものです。

24mmマス

KB-24

月 日 ()

わかったこと・わからないこと・思ったこと

おめでとう！ さいご 最後のページまでよく書きました！

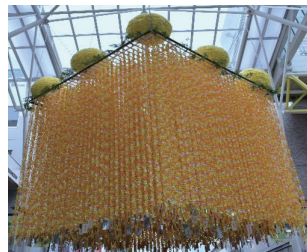
じぶん 自分でつくった、て 手づくりさんこうしょ 参考書になりましたよ。

たいせつ 大切にして、これから み なお つか 見直し使ってくださいね。

つぎ たな ばた 次の七夕に、あなたは、どんなことをねが 願いますか？

仙台七夕吹き流し再生紙

『仙臺七夕祈織～ 2017』



この再生紙は、仙台市立の小中学校の児童生徒たち約8万8千人による「児童生徒による故郷復興プロジェクト」の「鶴の吹き流し」を回収し子どもたちの大切な想いを「再生」して蘇らせた「紙」です。

このノートは、学校の教室の黒板にならって縮小した形状のノートです。

先生が黒板に書いた内容を、思い出して再現することができます。それによって、授業の学習活動全体の記憶が定着します。学校で先生はしっかりと学ぶことを導いてくれます。それをこのノートでしっかり身につけましょう！

このノートをお子様がよりよく活用できるように

◎授業で担任の先生が活用する場合

クラス全体で何かの教科で活用してもいいですし、授業の参加意欲を高める個別学習支援としても活用することができます。また、先生の板書計画ノートとしてもご活用いただけます。

◎放課後子ども教室や学童クラブで指導者が活用する場合

遊びや活動する前に、このノートに今日の授業で復習したい内容を再現する時間をつくりましょう。15分～30分程度でできます。それを見せてもらい、どんなことを学んだか聞き、ほめてあげてください。ノートに花まるもつけて。子どもどうして年長者と年少者の教え合い学習になってもいいですね。

◎家庭で保護者が活用する場合

「今日、どんな勉強してきたの？教えて」と、このノートを介して、お子様が授業を再現するのを促します。ノートに書いて教えてくれたことに対して、「よく勉強してきたね。教えてくれてありがとう！」とほめて、花まるつけてください。授業と家庭学習の好循環がつくられ、お子様の学習意欲が高まり、学習習慣が定着します。学年があがるにつれて、自分で学びを確かにしていくためのノートとして主体的に活用していくことができます。

表紙の紙は、仙台市内の小・中学生が復興を願って折った七夕折鶴を再利用したものです。

このノートは、次世代を生きる子どもたちに、環境意識と地域文化への愛着と絆を育む一助になることも願っています。

